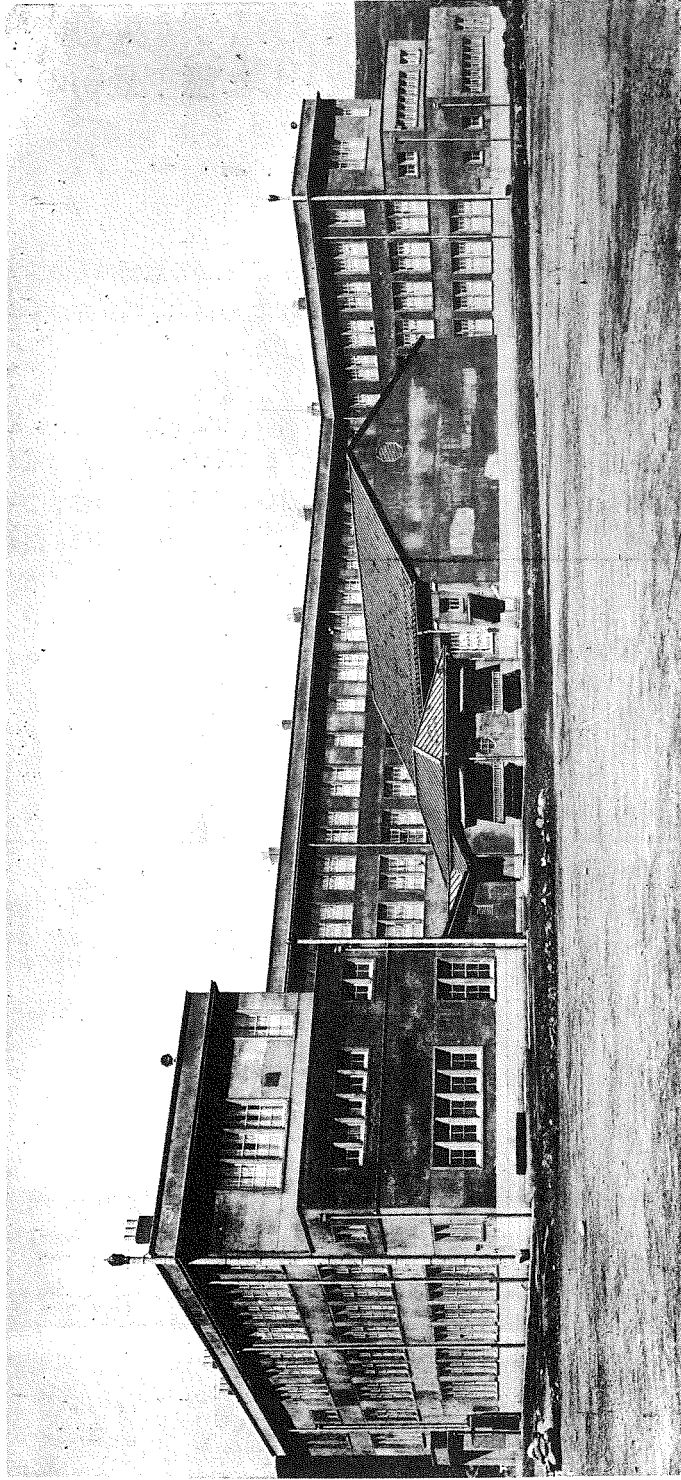


(1) 新築落成せる山梨縣東山梨郡平等村小學校の正面全景



(2) 平等小學校背面全景

山梨縣^{ひらしな}平等村小學校新築工事に就て

鐵筋混凝土構造の小學校として縣下最初のもの

工學博士 佐藤 功 一

本校は山梨縣東山梨郡平等村(ひらしな)他一ヶ村(萬力村)の組合學校である。

本校の所在地平等村は、實業家根津嘉一郎氏の故郷で、根津氏の家は、同地方切つての舊家であり、而も豪家である。

根津氏は、本校新築に際して、その一切の新築經費を寄附したのである。

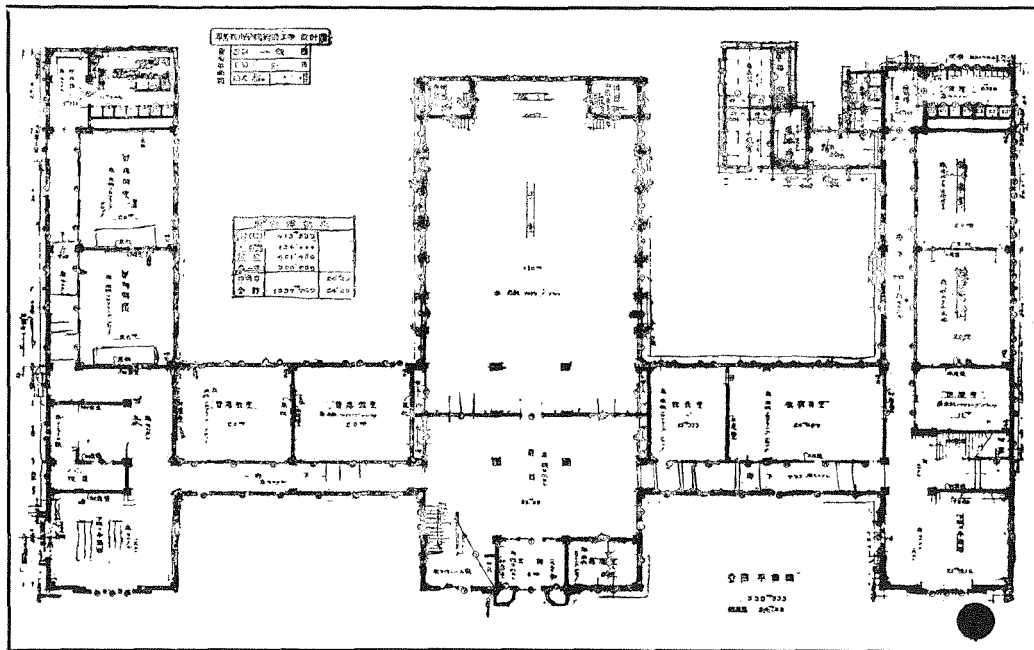
本校の舊校舍は、明治10年4月頃開校されたもので、西洋風の小學校建築としては、山

梨縣に於ける最初のものであつた。その校舍には二階の上に塔があつて、その塔には鐘があつた。

當時の文明開化の聲が、甲州の山中に入ることによつて、氣負肌の甲州人が、如何なる氣持を持つてこれを建てただらうか。

然るに今回新築落成した本校舎が又甲州に於ける最初の鐵筋コンクリート造りの小學校なのである。(佐藤博士談)

(3) 平等村小學校一階平面圖。中央講堂、廣間及玄關



構 造

鐵筋コンクリート三階建、總延坪 1,357坪
軒高 (地盤よりバラベツト上端まで) 44 尺
講堂軒高 14尺
木造附屬家 一棟

ハ、屋根 校舎、陸屋根鐵筋コンクリート造
講堂、切妻屋根、木造屋根
附屬屋、方形屋根、木造型小屋

1. 基礎工事

- イ、建築地下 4 尺 8 寸 布堀及壺堀
- ロ、割栗石地形 根徹底全部厚 6 寸
- ハ、基礎工繫梁 鐵筋コンクリート造

2. 架 構

- イ、軸部 校舎及講堂鐵筋コンクリート造
附屬屋、木造メタルラス張り
- ロ、床 一階床割栗石 3 寸、無筋コンクリート厚 2 寸打ち
二三階、鐵筋コンクリート造、トラスコン、フロアタイル使用

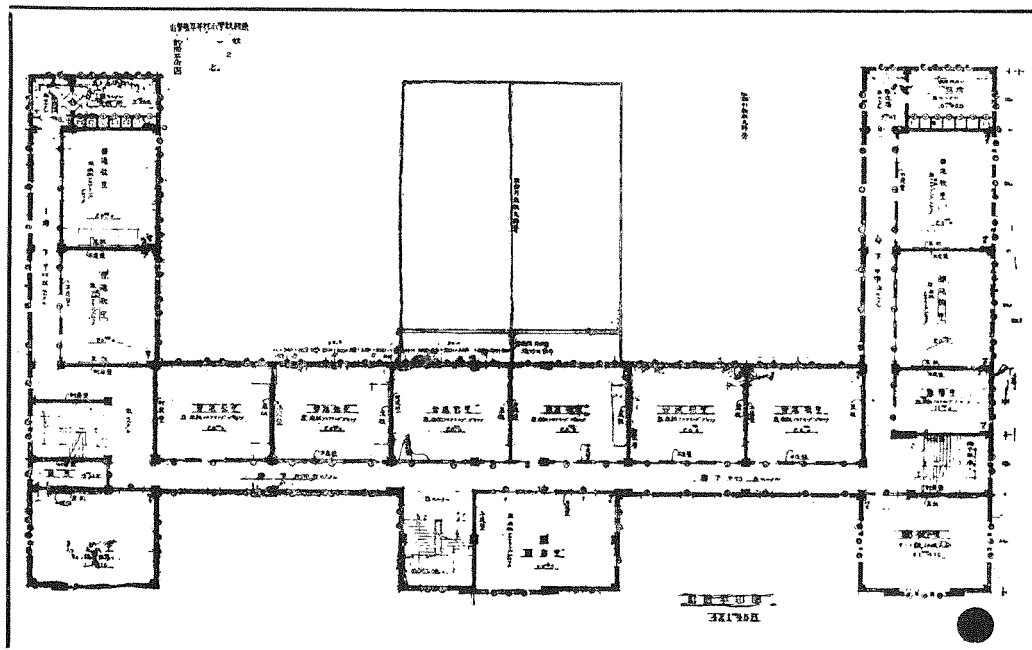
3. 外部仕上工事

- 1. 腰 部 人造石洗出し塗目地付
- 2. 壁 部 モルタル塗別仕上
- 3. 軒蛇腹 人造石洗出塗
- 4. 窓 鋼製障子ペンキ塗
- 5. 出入口 外部出入口鋼製扉その他は木製ペンキ塗
- 6. 屋 根 陸屋根、アスファルト防水層上に防水モルタル塗
- 7. 切妻屋根 亜鉛引鐵板瓦棒葺

4. 工 程

- 昭和 3 年 4 月 14 日 地鎮祭
- ク 16 日 起工諸準備着手
- ク 26 日 根切工事着手

(4) 二階平面圖



5月28日 基礎工事着手
 〃 29日 一階コンクリート着手
 9月19日 一階コンクリート完成
 10月4日 二階コンクリート完成
 11月4日 コンクリート全部完成
 〃 9日 上棟式
 〃 11日 造作工事及外部仕上工事着手
 昭和4年1月15日 同上工事完成
 2月15日 内部仕上工事着手
 3月31日 小手直しを残して全部完成

の間處女會員の手傳あり)

主要材料
 セメント 磐城及高爐セメント 7,710樽
 川砂 笛吹川 346立坪
 砂利 〃 512立坪
 鐵筋材 日本トラスコン、リブバー使用
 315噸
 木材 主として米松 4,500立方尺

總工費 245,122圓44錢

總延日數 349日(就業不能日26日、
 同休日7日)

就業總延人員 22,000人

この外に敷地均し及び周圍一部石積等に
 奉仕せる青年團員その他延人員 4,500人(こ

設計監督 佐藤功一
 現場監督 谷内明
 建築工事及
 附帶工事 合資會社 清水組
 電氣工事 東京電工社
 給水工事 葵商會

(5) 三階平面圖

